

# 桑野塾

第55回 2019年4月27日(土) 15:00 ~ 18:00

早稲田大学 戸山キャンパス 33号館 231号室

★ どなたでもご参加いただけます。会場に直接お越しください。 参加無料

☆ 終了後、近くの居酒屋で懇親会を開催します。(飲食費は別途)

※予約の都合上、懇親会参加をご希望の方はなるべく事前にご連絡いただけますと助かります。

※報告者・タイトルは変更の可能性もあります。ご了承ください。

桑野塾 検索  
<http://deracine.fool.jp/kuwanojuku/>

大学などの研究者に限らず、興味を持って研究していることを自由に発表しあう「広場」です。  
どなたでもご参加いただけます。  
それぞれの興味が少しづつ重なり合うことで、新たな知見を見いだそうという場です。



## 731部隊と戦後日本 —民族優生思想から『不幸な子供を産まない運動』へ

報告者: 加藤 哲郎



### “悪魔”的思想のその後—

旧満州で関東軍731部隊は、「日本人は優秀」という民族優生思想にもとづき、抗日運動に加わった中国人・ロシア人・朝鮮人等「マルタ」数千人を対象細菌戦用の人体実験材料とした。その存在は1949年末ソ連ハバロフスク裁判で明るみに出たが、ちょうどシベリア抑留日本兵帰還時で、GHQと日本政府から「ソ連のプロパガンダ」「デッチ上げ裁判」と否定された。1981年の森村誠一『悪魔の飽食』ベストセラー以降、当事者の証言や米軍資料の発掘が進み、2017年のNHKスペシャル「731部隊の真実」ではハバロフスク裁判の日本人被告証言が音声で放映され、公判記録の信憑性が証明された。また、日本政府が長く隠匿してきた731部隊「留守名簿」3600名の実名が2018年に公開され、旧731部隊の優生思想が戦後にも受け継がれ、1948年旧優生保護法の強制不妊手術合法化(戸田正三・二木秀雄)、優生手術による「不幸な子供を産まない運動」の全国執行責任者(長友浪男)を産み出したことが分かった。

(参考) 加藤哲郎『『飽食した悪魔の戦後』2017、『731部隊と戦後日本』2018(共に花伝社)



YouTube 加藤講演映像

<https://www.youtube.com/watch?v=DS>

[VuosJHQ2A&feature=youtu.be](https://www.youtube.com/watch?v=DS&feature=youtu.be)



● 加藤哲郎(かとう・てつろう)

1947年岩手県生まれ。東京大学法学部卒業。博士(法学)。一橋大学名誉教授、前早稲田大学客員教授。専攻は政治学・比較政治・現代史。

インターネット上で「ネチズン・カレッジ」主宰。

著書に『ワーマー期ベルリンの日本人』『日本の社会主义』(岩波書店)、『象徴天皇制の起源』『ゾルゲ事件』(平凡社)、『『飽食した悪魔』の戦後』『731部隊と戦後日本』(花伝社)など多数。